

町長日記



幸運は受け取る準備のある人のもとに

みなさんこんにちは、今回は、「運がいい人になるための小さな習慣」第2弾です。(第1弾は令和5年4月号)

日本でいくつもの事業を展開して成功を収めているインドの方が書いた本から引用させていただきます。

その方は、「運がいい人はお金への罪悪感を捨てる」、「活きたお金の使い方は「寄付」や「ボランティア」をすること、それはなぜか?」「寄付」や「ボランティア」は社会に貢献して単純に気持ちいいからだ」と言っています。

ほんとにそうですね、人のためになることをした後は、ああ〜良いことをしたと自分自身も晴れやかな気分になりますよね。「寄付」と言っても大金を出すことではなしに、コンビニのレジの横に設置されている募金箱や、役場、公民館に設置されている募金箱に募金をするだけで良いことをしたなどいい気分になりますよね。「ボランティア」にしても道路に落ちている「ゴミ」を拾ったりして町の美化に努め、町が綺麗になれば気持ちいいですよね。

小さな活動でもできる範囲でコツコツと誰かの役に立てば「運」として自分に返ってくるはずですよ。私も今は亡き父親によく「困っている人がいれば助けてあげなさい。自分が困ったときに助けてくれるはず(現に困った時に助けていただきました)、回り回って自分に返ってくるよ。」「と言われたことを今も忘れず守っています。

みなさんでもできることから始めてみませんか?運が回ってきますよ。